

経済学部学生専門教育短期留学支援制度

塩澤 修平（経済学部長）

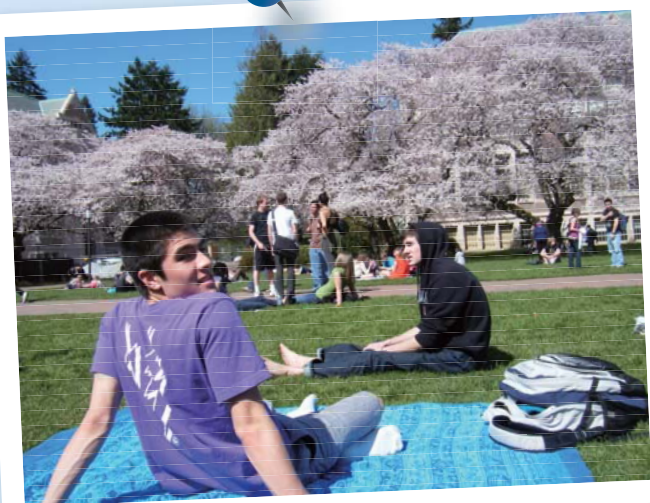
経済学部では、専門教育科目として開設しているプロフェッショナル・キャリア・プログラム在籍の学生を中心として、春学期や秋学期期間中の半年間ないし、夏季休暇期間中に、HEC、LSEといったヨーロッパの主要大学、カリフォルニア大学のようなアメリカの主要大学の専門科目教育プログラムへの短期留学を支援することで、国際的視野に立ち、世界を舞台に活躍する未来先導型人材の育成を目的とした短期留学支援制度を実施しています。



制度が開設された 2008年度は第2学年2名、第3学年13名、第4学年6名の合計21名の学生がこの制度を利用しました。学生の留学先は、当初の実施計画で想定した通り、HECが多く、また夏季休暇期間を利用してLSEへの短期留学を行った学生も現れるなど想定内とは言え、制度の幅広い利用が行われました。

留 学 先：HEC(6名)、ワシントン大学(2名)、LSE、エジンバラ大学、オスロ大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、シェフィールド大学、シンガポール国立大学、ソウル国立大学、復旦大学、ブリティッシュコロンビア大学、ボストン大学、香港大学、メルボルン大学、ロンドン大学東洋アフリカ学院(各1名)

経済学部ではこの制度の円滑な実施のために、学部内に「経済学部学生専門教育短期留学制度に基づく対象学生選考委員会」を設置しました。同委員会は、プロフェッショナル・キャリア・プログラム・コーディネータ、学部および国際センター学習指導主任等から構成され、学生からの申請書を元に書類選考を行うとともに、必要に応じて学生本人を呼び出して、英語による口頭試問を含む面接試験も実施して選考を行っています。



2009年度も未来先導基金による留学補助を継続するにあたって、名称を「経済学部・経済学研究科専門教育留学支援制度」に変更し、補助の対象を経済学研究科在籍者にも拡大しました。また経済学部設置の研究会、プロフェッショナル・キャリア・プログラム(PCP)、研究プロジェクトを履修している他学部在籍者も対象に含めています。経済学部・経済学研究科ではなるべく多くの学生を海外の高等教育機関に送り出したいと考えており、さらに留学補助制度を拡充したいと考えています。